

もうすぐ水遊びのシーズンがやってきました。楽しく安全に遊ぶためにプール遊びの注意を載せました。

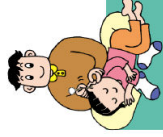
いろいろな感染症の中にも症状が治まった後もウイルスが排泄される病気があり、元氣に見えても注意が必要です。プールに入る際の注意点をあげましたので、目安にしてください。

| 病名 | 目安 | 注 意 点 |
|-------------|----|--|
| 腸管出血性大腸菌感染症 | × | 主治医の許可があれば可 |
| 手足口病 | △ | 症状が軽快してからも1ヶ月くらいは便やだ液からウイルスが排泄される。ただ一般的には症状が軽いことが多く、プールでの感染よりも日常生活で感染する機会の方が多いため、全身状態が安定し、本人が元気で登園できるなら、プールもOK |
| ヘルパンギーナ | △ | 回復してからも約1ヶ月は便やだ液からウイルスが排泄されるが、発熱、のどの痛みがなくなり食欲が戻って全身状態が安定し、登園できるなら、プールもOK |
| 水いぼ | ○ | 基本的には治療の必要はなく、プールもOK。肌どうしが直接触れるとうつることがある。 |
| とびひ | × | タオル、浮き輪、ピート板等を共有しない プールの水ではうつらないが、水疱やびらんがあるときは、水中の皮膚がふやけると悪化しやすい。 本人の皮膚の保護のためにプールは避ける。 |
| 頭ジラミ | ○ | 登園 プールは可能だが、髪の毛の接触で感染するので早急に駆除する |
| アレルギー性鼻炎 | ○ | ほかに症状がなければプールはOK。 鼻をかんでから入る |
| アレルギー性結膜炎 | ○ | 症状が落ち着いていればプールはOK。 プールから上がったらく目を洗浄 |
| 滲出性中耳炎 | ○ | 定期的にも耳鼻科を受診し、相談を症状が安定していればプールも可能なことが多いが発熱や耳の痛みを訴える場合プールは禁止 |
| 急性中耳炎 | △ | 主治医の許可があれば可 |
| 外耳炎 | △ | 主治医の許可があれば可 |
| 副鼻腔炎 | △ | 主治医の許可があれば可 |

<学校保健安全法の感染症の種類>

☆気をつけましょう☆

- ① つめを切りましょう
- ② よく寝ましょう
- ③ 朝ごはんを食べてきましょう
- ④ 耳垢を取りましょう
- ⑤ 髪を結びましょう



いんなときははプールをお休みしようね

熱がある
せきがでる
鼻水がでる



湿疹がで
ている



お腹が痛い
下痢がでる

プールの持ち物には必ず名前を書いてください。

